データ項目ID		データ項目	グループ			データ型	桁数	コード	繰り返し	データ出力条件	項目定義	項目説明	実装類型
			名称	主キー	外部キー								
014	00182	滞納消込特定キー情報2	納付書発行情報			X	20			任意	分納における契約日、納付受託における管理番号等、滞納整理分の発行納付書を特定するための情報		◎
014	00183	納付種別	納付書発行情報			X	2	018		任意	消込時の納付種別を判断するための区分		◎
014	00184	納付番号	納付書発行情報			X	20			任意	消込時の納付番号		◎
014	00185	MPN確認番号	納付書発行情報			X	6			任意	MPNのキーとなる確認番号		◎
014	00186	MPN納付区分	納付書発行情報			X	16			任意	MPNのキーとなる納付区分		◎
014	00187	バーコード情報	納付書発行情報			X	44			任意	納付書に印字するバーコード情報		◎
014	00188	OCRID	納付書発行情報			X	2			任意	納付書に印字するOCRID		◎
014	00189	上段OCR	納付書発行情報			X	39			任意	納付書に印字するOCR上段		◎
014	00190	下段OCR	納付書発行情報			X	44			任意	納付書に印字するOCR下段		◎
014	00191	eLTAX納税者ID	納付書発行情報			X	11			任意	eLTAX内で管理している納税義務者（eLTAX利用者）の通し番号		◎
014	00192	eL番号	納付書発行情報			X	37			任意	納付書に印字するeL番号		◎
014	00880	納付済通知書を一意に特定する番号	納付書発行情報			X	40			必須	納付済通知書を一意に特定することができる番号	設定値はアプリケーションの規定によることとする	◎
014	00881	時効延長有無区分	納付書発行情報			X	1			任意	納付の際に時効が延長されるかを判別するための区分（0：対象外、1：対象）	時効が延長される場合、「対象」とする	◎
014	00882	削除フラグ	納付書発行情報			X	1			必須	当該データが削除されたかどうかを現すフラグ（0：未削除、1：削除済）		◎
014	00193	操作者ID	納付書発行情報			X	10			必須	操作者を一意に識別するコード		◎
014	00194	操作年月日	納付書発行情報			DATE	10			必須	操作を行った年月日		◎
014	00195	操作時刻	納付書発行情報			TIME	8			必須	操作を行った時刻		◎
014	00196	市区町村コード	不納欠損情報	○	○	X	6			必須	市区町村を一意に識別するコード（指定都市においては区までを特定）	総務省「全国地方公共団体コード」に従って6桁のコード値を設定すること	◎
014	01066	合併前_市区町村コード	不納欠損情報	○	○	X	6			必須	合併前の市区町村コード	・総務省「全国地方公共団体コード」に従って6桁のコード値を設定すること ・合併前の市区町村コードがない場合は、市区町村コードと同値を設定すること	○
014	00198	賦課年度	不納欠損情報	○	○	YEAR	4			必須	納税義務者に対し納めなければならない税額を決定及び通知した年度		◎
014	00199	課税年度	不納欠損情報	○	○	YEAR	4			必須	・課税の事由となる根拠の発生した年度で、本来課税を行うべき年度 ・法人住民税の場合、法人の確定申告、中間申告等に係る申告期限（申告期限が延長されている法人の場合は延長前の申告期限）が属する年度	法人の場合で課税年度を管理していない場合は、賦課年度と同じ値を設定すること	◎
014	00200	通知書番号	不納欠損情報	○	○	X	20			必須	・通知書を特定可能な番号 ・軽自動車税においては徴収単位を一意に特定可能な番号 ・法人住民税の場合、法人を一意に特定可能な番号		◎
014	00201	業務詳細（税目）コード	不納欠損情報	○	○	X	2	016-008		必須	対象となる業務の詳細（税目）を示すコード		◎
014	00202	特別徴収義務者指定番号	不納欠損情報	○	○	X	12			必須	事業所を一意に識別する番号	個人住民税（給与特別徴収）でない場合は、0を設定すること	◎